



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

昭和大学歯科病院長 榎 宏太郎

漸く梅雨が明け、酷暑が続く、今日この頃ではありませんが、皆様に置かれてはいかがお過ごしでしょうか。5月の連休明けから約2ヶ月間をかけて、歯科病院の各診療科の助教、助教(員外)の先生方と面談させて頂きました。歯科病院がより一層充実した職場として地域医療に貢献して行くためには、個々のモチベーションが重要であると考えたこと、診療科間の横のつながりをもっと深めるために必要な事を現場の目から教えてもらうことが目的でした。皆様にお聞きした内容は、大きく分けると、1)夢ややりがいを持っているか、2)その実現に向けて障害はあるか、3)病院への要望、などでした。一人あたり約6~7分を予定していたのですが、話が長引いてしまい、とてもお待たせしてしまった先生にはほんとうに申し訳なく反省しております。皆様の貴重な時間をさいて頂いた事に、心より感謝申し上げます。

結論から申しますと、とても清々しい気持ちです。ほとんどの若手は、自分達の輝ける未来を信じ、歯科医師としての研鑽を積むことに生き甲斐を感じておられました。学ぶ意欲、教える楽しみ、治す喜び、それらを直に聞くことの出来た私のほうが逆に元気を貰ったような気がします。とくに、卒後の教育体制を充実させることの意義、大学歯科病院として求められている診療内容、さらに効率化して改善できる可能性、など様々なことを改めて認識することが出来ました。また、病院管理として対処すべきいくつかの点につきましてもとても参考になりました。恥ずかしながら、病院長である私が気付かなかったことも多く、それらについては、早速、事務方と共に取りかかっております。歯科病院として何をすべきか。皆様からお聞きした言葉を胸に刻み、宮崎歯学部長はじめ各診療科長と協力し合い、少しずつではありますが、より素晴らしい病院にして行きたいと思っております。ここから我々の責務である事は十分に承知しております。

時折、古いイギリスの曲の、Till the blue skies drive (chase) the dark clouds, far away. という歌詞を思い出しております。



夏季スポーツ大会壮行会が開催されました

歯学部学生部長 上條 竜太郎

学生が夏期休暇に入ると、いよいよ全歯体や東歯体などが始まります。学生の健闘を祈って、第20回夏季スポーツ大会壮行会が7月10日に開催されました。

午後5時から昭和大学病院入院棟地下1階臨床講堂で、昭和大学スポーツ運動科学研究所の先生方にご講演いただきました。冒頭、三邊所長の挨拶が行われ、その後、芳賀秀郷先生より「口腔外傷とスポーツ歯科」、千葉慎一先生より「怪我の予防-ウォーミングアップとクールダウン-」、磯良崇先生より「スポーツでの突然死と心肺蘇生」のタイトルでご講演され、引き続き午後6時から50年記念館で、壮行会が開催されました。医学部の宮崎学生部長が開式を宣し、小出学長が告辞を述べ、挨拶は4学部を代表して久光医学部長、與儀父兄会長がそれぞれ行いました。医学部同窓会学内支部長である門倉教授(外科学 呼吸器外科学部門)から、体連4クラブ、文連2クラブに部活動奨励助成金が授与され、歯学部ではアイスホッケー部に授与されました。アイスホッケー部 片岡和之(M4)の選手宣誓に続いて、グリークラブによる校歌斉唱をもって終了致しました。

懇親会ではまず、応援指導部による迫力あるエールが会場内に響き渡り、宮崎学生部長の乾杯により会が始まりました。大会での健闘を誓う各クラブの学生の活気で会場内が満ちあふれる中、午後7時に閉会となりました。

今年は例年にも増して猛暑が続きそうですが、学生が体調管理のもと、日ごろの練習成果を発揮して好成績をおさめるように期待しています。



病棟実習シミュレーション・学部連携 PBL が実施されました

歯学教育学部門 片岡 竜太

昭和大学では「チーム医療ができる医療人の養成」をキーワードとして、4学部連携教育を行っています。医・歯・薬4年生、保健



医療3年生約600名を対象とした病棟実習シミュレーション・学部連携 PBL を6/5(金)、6/11(木)、6/16(火)に旗の台校舎で実施しました。

上條講堂でオリエンテーションを行い、PBLの進め方を確認すると同時にシナリオの患者さんが救急受診したビデオを観ました。学部連携病棟実習に協力していただいたこの入院患者さんの診療録を基に作成した模擬診療録(医科、歯科)、薬剤管理記録、看護記録などをシナリオとして、学生は72グループに分かれてディスカッションを行いました。模擬診療録などを読んで患者さんの病態や気持ちを把握した上で、カルテや検査データからキーワードを抽出し、ポストイットを使ってグループでプロブレムマップを作成することによって、患者や家族の問題の全体像を把握し共有しました。患者や家族が入院前の生活に戻るために、医療者が解決、改善すべき問題は何かを討議し、問題点リストの優先順位をグループで検討しました。この過程で「あやふやなこと」「わからないこと」を学習項目として、自己学習を行い、お互い他のグループメンバーに説明をし、グループとしての理解を深めました。

問題点リストの優先順位に従って、各問題点に対してグループとして考えた治療・ケアプランを立案しま



した。主要なプロセスをファシリテーター(指導医)にチェックしてもらいながら進め、最終日に模擬患者さんに対して治療ケアプランを説明する会を4グループが合同して行いました。

ペーパーペーシェントはこのPBLで卒業です。来年は医科病院の病棟で実際の入院患者を対象に実習(1週間)をおこないます。昭和大学ならではのチーム医療教育を受けた学生達が、医療現場で活躍することを期待します。

病棟実習シミュレーション・学部連携 PBL を体験しました

D4 篠田 眞保

今回は二回目のPBLということで、3年生の時に行った内容と比べ、より専門的な内容に関して討論を行いました。テーマは「脳梗塞の患者さんに対し、半身マヒと呂律不良を主訴としている方にどういったケアプランを行うべきかを考える」というものでした。

医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の異なる分野を学ぶ4学部混合で討論をすることにより、他学部で学習している内容を共有することができたと思います。例えば、脳梗塞とはどのような病気なのかを詳しく知ることができ、治療として用いる薬剤の機序や半身マヒに対するリハビリ方法を知ることができ、非常に勉強

になりました。さらに、私の学部に関連している呂律不良のケアプランについては、他学部の学生に説明することで、私自身の理解がより深まり、歯学に対する興味が増しました。



このPBLで1つ学んだことがあります。はじめ私たちの班は医療者側の目線で脳梗塞という病気のみに対するアプローチを考えていました。しかし、「それでは患者さんの意思を無視したケアプランになってしまう」とファシリテーターの先生にアドバイスをいただきました。そして討論を重ねたことによって、患者さんの主訴である「半身マヒと呂律不良の改善」を図り、最終的に患者さんの「自宅に帰りたい」という意思を最優先したケアプランを考えることができたと思います。患者立脚型医療の大切さを知ることができ、とても有意義なPBLだったと感じています。



昭和大学富士吉田校舎オープンキャンパスが実施されました

入学支援課 太田 麻美

平成27年6月28日(日)富士吉田キャンパスにおいて受験生を対象とした富士吉田校舎オープンキャンパスを開催しました。



当日は、晴天に恵まれ、富士吉田キャンパスでの寮祭も実施され、大変にぎやかなオープンキャンパスとなりました。今年、4学部併せて230組475名の参加者があり、うち歯学部希望の参加者は、22組51名と昨年の18組41名を上回り、歯学部希望者が増えた結果となりました。

オープンキャンパスのプログラムでは、全体説明会で、小出学長から挨拶があり、富士吉田教育部 田中教授と学生による富士吉田校舎での生活等についての講演の後に、模擬講義や教職員との個別面談、実習室見学、図書館見学を実施しました。また、1年次に実際に過ごす寮の見学や、食堂での昼食体験、学生とのフリートークを実施し、“全体説明会の学生の受験勉強方法が大変参考になった。”“学生の雰囲気分かってとてもよかった。”との声が寄せられ、大変好評のうちに終了しました。

引き続き、8月30日(日)に富士吉田校舎オープンキャンパスを開催します。

歯学部オープンキャンパスが実施されました

入学支援課 太田 麻美

平成27年7月25日(土)に本学洗足キャンパスにおいて受験生を対象に歯学部オープン



キャンパスを開催しました。当日は、62組106名の参加がありました。

宮崎歯学部長のご挨拶に続き、富士吉田教育部 田中教授による『富士吉田での学生生活』と、口腔解剖学 中村教授による『歯学部教育の特色・平成28年度歯学部入学試験概要・卒業後の進路』について全体説明会を実施いたしました。その後、グループに分かれて、小児歯科、補綴歯科の外来見学や矯正

歯科による患者ロボットの紹介、さらに、総合診療歯科による“口腔内診察体験実習”を実施しました。また教員による個別相談も多くの方が希望され、参加者からは、『実際の歯科医がどのようなことが行おうのかが理解できた』『入試のことがよくわかった』『体験実習が楽しかった』等の意見があり、富士吉田オープンキャンパスに引き続き7月25日のオープンキャンパスも大変好評のうちに終了することが出来ました。

引き続き、9月19日(土)に入試説明会を旗の台キャンパスにて実施いたします。入試説明会では、予備校講師を招き、過去問題解説を行った後、教員による個別相談を実施予定としております。また、10月10日(土)には、本年最後の本学での入試説明会となっており、当日は、入学支援課による個別相談を実施する予定としております。

〈オープンキャンパス等に関する問い合わせ先〉

入学支援課 内線8026

平成28年度秋季・平成29年度春季 大学院募集要項について

大学院運営委員長 井上 富雄

7月7日19時から、歯科病院にて大学院の説明会が開催されました。研修医12名、6年生9名と他大学研修医の4名の合計25名が参加しました。参加者の総数は昨年より減りましたが、18の講座・部門からお出でいただいた先生方の説明に熱心に耳を傾けていました。今年度は、春季Ⅰ期入試合格者の入学辞退期限が国家試験発表後の平成28年3月31日17時までとなるため、春季Ⅰ期入試の受験が6年次学生も可能となります。今後の説明会は、9月1日の17:30からと11月25日の17:30から、いずれも歯科病院6階第1臨床講堂で開催予定です。大学院入試は、以下の表に示す日程で行われます。詳細は、大学のHP(<http://www.showa-u.ac.jp/grad/dent/>)をご参照ください。

多くの熱意にあふれた大学院生の入学をお待ちしています。

入試日程	秋季	春季Ⅰ期	春季Ⅱ期
願書受付	7/21(火)~ 8/12(水)	10/26(月)~ 11/20(金)	1/12(火)~ 2/3(水)
試験	8/22(土)	12/5(土)	2/13(土)
合格発表	9/16(水)	12/16(水)	3/10(木)
入学辞退	9/28(月) 17時まで	3/31(木) 17時まで	3/31(木) 17時まで

初年次体験学習 学部実習説明会を開催しました

富士吉田教育部 前田 昌子

6月25日アピオセレモニーホール甲府において初年次体験実習学部実習で学生を受け入れてくださる歯科診療所の指導医、スタッフを対象に説明会を開催いたしました。



初年次体験実習とは毎年9月の初めから約3週間行われる実習で、全学部約600人の1年生が福祉施設、病院を見学、BLS(心肺蘇生)講習、学部実習を体験しながら医療人としての1歩を踏み出す実習です。歯学部実習は「地域連携歯科医療実習Ⅰ」として開業医の先生のところへ伺い、実際に患者さんを診療している所を拝見させていただきます。患者さんの誘導や、実際にユニットや材料にさわらせていただき実習後は目を輝かせて帰寮します。

初めに富士吉田兼務教員でもある桑田啓貴教授により「歯科と微生物」のレクチャーを行いました。参加された先生方からは予定時間をオーバーするほどたくさんの質問がありました。つづいて、片岡有先生から3年生で実施が始まった「地域連携歯科医療実習Ⅱ」の説明と様子を撮影したビデオが流され、わずか2年半での成長の様子に驚きの声が上がっていました。私からは学生が前期にどのような勉強をし、どの程度の知識を持って見学に望むのか、また、初年次体験実習の変更点等を説明させていただきました。

最後に先生方から見学学生を受け入れての改善点や要望、昨年初めて実施した院内掲示自己紹介ポスターが好評だったことなど活発な意見交換をさせていただき閉会となりました。

昭和大学学士会例会(歯学部主催)が開催されました

昭和大学学士会担当理事 美島 健二

本年6月27日(土)に第322回昭和大学学士会例会(歯学部会主催)が開催されました。午前中には、



研究紹介講演として平成26年度上條奨学賞を受賞された口腔生化学講座の須澤徹夫講師が「硬組織形成細胞の分化制御機構の解明」と題して講演さ

れました。本講演では、神経堤由来細胞の歯や骨などの硬組織再生における応用の可能性がわかりやすく示され、当該細胞が再生医療のソースとして期待されていることが明らかとされました。また、午後には東京工業大学資源化学研究所高分子材料部門の西山伸宏教授により「高分子の精密設計に基づく革新的がん診断・治療システムの創製」と題して特別講演が行われました。本講演では、癌を標的とした高分子ミセルを基盤とするターゲティングDDSの研究開発の現状について説明がなされ、癌を標的とした副作用の少ない治療法開発が進んでいることが説明されました。また、光や超音波の利用により切らない手術(ケミカルサージェリー)などの革新的技術に関しても解説がなされ、癌のみではなく炎症性疾患などへの応用の可能性も感じられ活発な討議がなされました。これに加えて、16題の一般講演が行われ、いずれも活発な質疑応答が行われ、盛会裏に終了することができました。

認定医・専門医取得

広報委員長 中村 雅典

日本補綴歯科学会 指導医:

岩佐文則(歯科補綴学講座准教授)

受賞

広報委員長 中村 雅典

- ・第28回日本顎関節学会学術大会
ポスター発表優秀賞
「パラファンクションと咬合感覚との
関連性」



- 菅沼 岳史(歯科補綴学講座)
- ・第33回日本骨代謝学会学術集会優秀
ポスター賞
「低分子量Gタンパク質Cdc42は口蓋
形成において重要な遺伝子である」
大島 睦子(歯科矯正学)



行事予定

広報委員長 中村 雅典

- ・8月6日(木)~7日(金):第20回歯学教育の
ためのワークショップ
- ・8月15日(土):歯学部オープンキャンパス
- ・8月22日(土):大学院歯学研究科秋季入試

編集後記

小児成育歯科学講座 遠藤 由美子

盛夏を迎え、最高気温が記録更新を続けており、毎日その数字に圧倒されるばかりです。

末筆ながら、ご多忙の折ご寄稿下さいました皆様方に心より感謝申し上げます。